



と ころ
戸 高 だ よ り
福 岡 県 立 戸 畑 高 等 学 校

令和7年度第13号

令和8年1月7日

校長 岡本 美加

場を清め、心を整える

2学期の終業式で、目標を立てて、その達成のために行うことを具体的に目に見える形にすることが重要だと話し、大谷翔平選手が高校1年生の時に作成した目標達成シートを紹介しました。大谷選手は、目標達成のために必要な8要素の一つに「運」をあげ、行動目標としてゴミ拾いや部屋掃除と記入しています。「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾い、自分にツキを呼ぶ。」という高校時代の監督の言葉をメジャーリーガーになっても実践しているのです。「ゴミを拾う」行為は、大谷選手にとって平常心を保ち、冷静にプレーするための行動なのです。

皆さんに作るように言ったので、私も目標達成シートを作ってみました。私が目指すのは、「持続可能な戸畑高校」です。今年90周年を迎える戸畑高校が150周年、200周年を迎えられるように力を結集し、持続可能な仕組みづくりをすることが今の戸畑高校に関わる私たちの役目です。そのためには、2万人を超える先輩方が紡いできた伝統を大切にしながら、新しいことに果敢に挑戦していく必要があります。そして何より、戸畑高校に入学し学んだ皆さんが、戸畑高校を選んでよかったと思える学校でありたいと考えています。「持続可能な戸畑高校」であるために、戸畑高校の持ち味や県立学校としての強みを生かして、戸畑高校だからできることを強化し、足りないところを補いつつ、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。

今年度から力を入れているのが「安全・安心な学びの環境」を整えることです。そのための行動目標の一つに、「場を清める」を入れました。「場を清める」と心が整います。年末に行う大掃除は、平安時代の宮中行事「煤(すす)払い」が起源とされ、作物の豊穰や家々の守護を司る年神様を迎える環境を整え、福を招き入れる準備なのです。掃除は、衛生面や健康面の改善、生活の質の向上等に加え、違いに気づき、汚れたところを綺麗にしたという達成感をもたらします。清められた場は視覚的ストレスを減らし、集中力が高まり、心が整います。実は、学校で生徒が掃除をする国は多くありません。日本では、神道や仏教の教えや剣道・弓道・茶道等の精神が背景にあると言われ、衛生管理を超えて心を整え、他者への思いやりを育む実践として定着しました。日本人が自分たちの使った場所を当たり前のように自分たちで綺麗にする心がけは、これまでもスポーツのイベントを中心に数々の場面で世界中から称賛されてきました。今では、日本を見習い、学校で一斉に掃除を行うようになった国もあります。

掃除時間や部活動後の片付けはもちろんですが、教室の棚や机、自分の部屋や鞆の中等も整えることにより、違いに気づき、場を清め、心を整えましょう。運を拾い、ツキを呼び込み、ウマくいくようになります。令和8年、戸高生の幸運を祈ります。

創立90周年記念

キャッチフレーズ・シンボルマーク

生徒会が募集していた創立90周年記念のキャッチフレーズとシンボルマークが決定し、2学期終業の日作成者の思いとともに披露されました。

キャッチフレーズは

「翔べ、世界へ、未来へ」

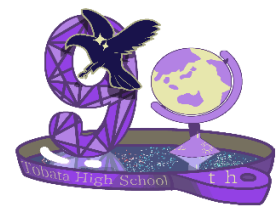
*2年 小林 香凛さん (柳西中)
校歌3番の「世界の朝を照らさん」にあるように、先輩方がさまざまなところで活躍されていることと、校章に鷹が描かれていることから「私たちもこれから世界へ羽ばたいて活躍していこう」という思い

シンボルマークは最終候補の

*1年 田中 美乃さん (緑丘中)
校歌の「世界の朝を照らさん」という歌詞と、職員室の入口付近の校章の絵から地球儀を連想し、鳥は90周年を迎える戸畑高校が更に飛躍できるようにという思い
*2年 西 紗矢花さん (思永中)
一人一人を蔑(ないがし)ろにしない、一人一人が努力を怠らないという思いを虫眼鏡で表現
*2年 小林 香凛さん (柳西中)
校章に描かれている鷹は、生態系の頂点に君臨する強さの象徴。自らの道を切りひらき、進んでいくような強さを持ちたいという願い
*3年 山下 北斗さん (志徳中)
終戦・高度経済成長・バブル崩壊・パンデミック、様々な世界の出来事を経験してきた戸畑高校から明るい世界を作りたい

4作品を西さんが一つに仕上げました。

*校章の鷹を戸高生に見立て、地球から世界へ、未来へ翔び立つ様子。90の土台となっている虫眼鏡を通して宇宙を描いた。鷹をスクールカラーの濃紺、戸畑あやめの紫をベースに、紫の補色である黄色を効果的に使用。



今後、さまざまなところで活用します！